

澄んだ瞳

第68号
令和元年12月号

発行
相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

じんけんぶんか
人権文化をすすめよう！

じんけんしゅうかんじゅうにがつよっか
人権週間十二月四日から一〇日
とおか

「人権文化」とは

日常生活の中で、お互いの人権を尊重
することを、自然に感じたり、考えたり、
行動することが「当たり前」になった生活
をいいます。

「大せつなともだち」

わたしはAさんが
大すぎです。

なぜかという、に
ゆう学してはじめて
できたともだちだか
らです。

Aさんは、にほん

にきてまもないわたしをまもってあげると
いってくれました。そのことばがうれしかっ



たです。わたしがわすれものをしたときかし
てくれたり、やすみじかんになると

「いっしょにあそぼう。」
とさそってくれました。

クラスのみんなもわたしとなかよくして
くれました。

わたしもみんなが大すぎです。

(小学1年生)

「大なわれんしゅう」

わたしは今日、中休みに大なわれんしゅ
うをしました。6年生のおにいさんおねえさ
んたちといっしょに大なわをしました。わた
しがなわにつまずいたとき「ああ、もう。」
と言われるかなと思ったけど、「次はぜった
いみんなだとぼな。」と言ってくれました。

やさしいな、次はぜった

いがんばりたいなと思い
ました。たてわりはんで、
いっばいれんしゅうした

らやっととべるようにな
って、6年生はやさしい
なと思いました。

(小学2年生)

「ともだち」

ともだちって
カゼをひいたら
心配してくれる人
ともだちって
自分が一人で本を読んでいた
遊びにさそってくれる人



ともだちって

おにこころでつかまったら
助けてくれる人

ともだちって

だれにも言ったことがないことも
言える人

ともだちって

自分がちょっと遠いところにお出かけに
行けてうれしいときに
いっしょにうれしい気持ちに
なってくれる人



(小学4年生)

「合同授業」

この間、矢野小学校の子と合同授業を
しました。今までとはちがって、合同授業
で初めて道徳の勉強をしました。



矢野小の子は少ない人数だけど、たくさん手をあげて発表していました。「今まで少人数でやってきた分、たくさんの考えを思いつくんだろうな」と思いました。今日は十九人で授業をしたので、いろいろな意見が出ました。

これから合同授業でいろいろな考え方を出し合って、一緒に学んでいきたいと思いました。

(小学4年生)

「あいさつ」

ぼくたちは、登下校の時いつもあいさつをします。あいさつの意味を調べると、「人と会った時にかわす、おじぎや言葉」でした。でも、これ以上に大きな意味があると思います。

ぼくは1年生の時、あいさつが苦手で、相手の顔をみるのがやっとでした。先生や

上級生や地いきの人は、毎日あいさつをしてくれ、うれしい気持ちになりました。だから、5年生になったから、ぼくもあいさつをしようと思います。あいさつは、「コミュニケーションの初めの一歩だと思っています」。

ぼくは、野球を習っています。

す。チームには同じ学校ではない子もたくさんいます。その子たちと仲良くなれたのも、初めはあいさつからだっ
たと思います。おはよう、がんばろうとかの言葉から信頼
もうまれ、いいプレーにもつ
ながると思います。これから
も、あいさつだけでなく自分
からいろんな声かけをしてい
きたいです。

(小学5年生)



「みんなが笑顔になれる花屋さん」

私の将来の夢は、花屋さんになることです。理由は、花屋さんに行った時、いろいろなきれいな花があり、知らないうちに笑顔に

なっていたからです。また、学校から下校する時、道端に咲いている花を見て、とても気分がよくなるからです。だから、花には人を笑顔にする力があると分かりました。

以前、花屋さんで花を買った時、お店の人がその花の特徴や花言葉を教えてくれました。私は、お店の人の優しさと様々な花の特徴や花言葉を覚えて



いることがとてもすごいと感じました。このように、みんなを笑顔にできるすごい人になりたいと思います。

花屋さんになることは簡単ではないですが、花を育てたり花について詳しく調べたり、花をもっと好きになるように努力します。そして、みんなを笑顔にすることができると花屋さんになりたいです。

(小学6年生)

「チームになって」

私は、バレーボール部に入っています。バレーボールは団体競技なので、仲間内での

誤解やモチベーションの差により、すれ違うことも少なくありません。

自分の知らない所でもめ事が起きたり、いつのまにか自分もまき込まれているということがありました。

個人間で解決できることもあれば全体で話し合っ、やっと解決できたということもよくあります。

最初は「そんな事で？」と思ってしまうような事から始まります。

相手に思っていることを正直に伝える、聞き出す、伝えられるような信頼関係をつくっていく。感謝や反省を伝えるといった当たり前の事をおろそかにしない。このような事をできているようで、できていなかったのかもしれない。



私は、団体の競技でできることをデメリットではなくメリットにしたいです。

これから誰一人欠けることなく「チーム」として一緒にバレーボールをしていきたいです。

(中学2年生)

「SNSといじめ」

今回の講話は現代の社会を生きる自分にとっても大切なことだと思いました。SNSやいじめについての話はよく聞きますが、先生の話は自分たちにもわかりやすくアニメや、アプリを使って説明してください。たので興味を持って聞くことができました。

最初のいじめについての話では、自分が助けてあげようと思って教えてあげても、相手の方が自分でやりとげたかったと思っ、不快に思っ、しまったらいじめにとらえられてしまうことがあると知って驚きました。相手の気持ちを考えた上で行動しないといけないと思いました。



次にSNSでは自分もよく使うラインやインスタグラムなどの使い方を教わりました。あまり投稿することはないですが、その前に自分が相手に嫌な思いをさせる言葉を送っていないかを考えた上で発言していかないといけないと改めて思いました。

(高校3年生)

「自分」

中学のころの自分は、ネガティブに考える事が多く、周りのだけでなく自分にも不信感を抱いていました。中学1年の二期で不登校になり、今では申し訳なく思いますが、家でもずさんだ生活で親に迷惑をかける事もありました。



中学3年になり、思い切って卒業式に出してみました。意外にも自分を思ってくれていた同級生や先生が居ることがわかりおどろきました。卒業式も素晴らしいものが出来て自分の人生が明るく灯ったように感じました。親に「高校進学はしときよ」と諭され、不登校だった自分でも入学することが出来る定時制か通信制への進学で迷いましたが、定時制がいいと思い、受検して無事、合格する事ができました。高校生になって、中学校にいていなかったのが覚える事が多く、時々くる突発的なネガティブに襲われながらも登校することができています。一学期は

一所懸命の言葉を意識し、学校生活をおくり、中間調査ではよい成績をとることができました。また、多くの先生や同級生、先輩とも少しずつ仲良くしていけると思えるようになっていました。

(高校1年生)

かていたいわ 家庭対話ウィーク

12月4日(水)～10日(火)

心と心を受けとめ合う会話、肌と肌で感じるぬくもりのあるふれ合い。安心して、お互いの気持ちを話し合う場所が家庭です。話をゆつくりと聞き合う機会が少なくなっ

てきていると言われます。

家庭は人権文化の最前線とも言われます。

あたたかい家族の関係をみんなで育んでいきたいですね。



〈人権ふれ愛シネマ〉

作品名 「キセキの葉書」

あらすじ

脳性麻痺の娘を抱え、子育て、家事と家の中からは、うつを患いつつも前向きに生きようとし

す。そこに母が認知症と

知らせが。母への思いを託した葉書は

5,000枚にも及ぶ。

日時 12月7日(土) 4時開演
会場 相生市文化会館大ホール

※入場無料



※令和元年度人権
ポスター特選作品を
会場入口に展示します。

